

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市南吉成児童館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 17,873人（前年度比 115.8 %） ・令和2年度 15,428人 ・令和元年度 21,265人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 36,335千円 (34,441千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>「生き生きと活躍する児童を育み、豊かな子育ての輪を広げる児童館」を運営目標に取り組みました。</p> <p>子育て家庭支援事業では、乳幼児親子が楽しく触れあうことができ、親同士が交流できる環境づくりを心掛け、発達段階に見合った年齢別のプログラムを提供しています。0歳児を対象とした「0ちゃんタイム」では、ママのアロマハンドマッサージや、本気のラジオ体操で、リラックス・リフレッシュできる雰囲気づくりをしたことで、ママたちの交流が深まりました。1歳児から3歳児を対象に行ってきた「あそびましょ1・2・3」では、ハロウィンやクリスマスなど季節の活動は人気も高く、回を重ねるごとに親子の友だちづくりの場、交流の場ともなりました。</p> <p>今後もニーズを踏まえながら、乳幼児親子の交流に繋がる機会を設けてまいります。</p> <p>放課後児童健全育成事業では、異学年交流の場として「ふれあいタイム」を設けています。毎日行う活動内容を子どもたちと話し合いをし、やりたい遊びを自分たちで考えることで集団生活を楽しく過ごせる工夫を少しずつ考えられるようになっていきます。また、「みんなであそぼう」では、イントロクイズ・クリスマス装飾づくり・門松づくりなど、季節に応じ様々な体験をすることができました。運動遊びや創作活動など様々な遊びを通して、生き生き遊びにチャレンジする姿や、異学年で遊ぶ姿が多く見られました。</p> <p>地域交流推進事業では、地域の人材を通して地域との交流を図ることをねらいとし、地域やシルバー人材センターの方々の協力「おはなしの部屋」「囲碁・将棋であそぼう」を実施しました。地域の方との交流を通して、囲碁や将棋、本に興味を示し、意欲的に参加する子どもたちの姿を見ることができました。</p> <p>今後も子どもと地域のつながりを絶やさぬよう、地域とともに取組を進めてまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置などの発令があったが、児童クラブに関しては、年間を通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部休止していたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、中高生の居場所づくりをねらいとして土曜日に中高生の時間を設定した。来館増加にはつながらなかったものの、今後も創意工夫をし来館増加を図っていく。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、「あそびましょ1・2・3」でリズムあそびやもこもこ泡ペイントなど、充実した内容を提供した。少人数での活動に設定し、利用者が気軽に参加しやすい環境作りに努めており、来館者のリピーターにつながっている。また、幼児クラブ「なかよし会」では、季節の行事や運動会、制作など豊かな遊びの場と参加者の交流の場を提供し、地域の子育て家庭の支援に取り組んでいる。</p> <p>地域交流推進事業においては、「お話の部屋」「囲碁・将棋であそぼう」が地域の方の協力で行われ、多世代交流を通して本や囲碁、将棋に親しみ子ども達の社会性や自主性が育まれている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、校庭や遊戯室を活用した運動遊びを通して、子ども自らが危険を回避できるように支援が行われている。また、夏休み前の保護者会ではスライドショーで子どもの様子を伝え、児童クラブへの理解を深めてもらうとともに、保護者との連携を図っている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課